

行田歴史系譜 352

資料がかたる 行田の歴史

52

俳人の奇北も詠んだ帯曲輪

江戸時代の忍城は沼地の中にあり、その地形を生かした堀と、曲輪と呼ばれる島状の土地が城郭を形作っていました。今回は数ある曲輪の中から、帯曲輪について紹介します。

帯曲輪は、城の中心から見て北(現在の忍一丁目辺り)に位置していました。東西に細長く、ややカーブした形をしており、現在の地形にもその名残が見られます。造られたのは元禄14(15年)〜1701(1702)、忍城主阿部家による忍城大改修の時です。それまで広い堀で隔てられていた北谷町と馬場曲輪をつなぐ通路として新設されました。これにより、城の東西を行き来する際に南側を大回りする必要がなくなり、交通の便が非常に良くなったそうです。また、当時は忍城の堀に北から忍川が注いでいたのですが、帯曲輪が造られたのはちょうど水流入りの入り口でした。堀に直接流れ込んでい



「文政六年忍城図」に描かれた帯曲輪 (郷土博物館蔵)

た水が、帯曲輪に一度ぶつかることで緩やかになり、堀の中に点在する小島が削れてしまうことを防ぐ効果もあったようです。帯曲輪は通路としての役割が大きいく、幕末期まで屋敷や役所といった建物は建てられませんでした。幕末の文久2年(1862)に参勤交代が緩和され、武士たちが江戸から国元へ住処を移し始めると、城は少しずつ姿を変えていきました。帯曲輪は通路から宅地に変わり、後にはその様子から「百軒長屋」と呼ばれるほど、長屋がぎっしりと立ち並ぶ場所になりました。

明治時代以降の帯曲輪については、須加村(現在の須加地区)出身の俳人・川島奇北(1866〜1947)が次のような句を詠んでいます。「郭」は「曲輪」と同じ意味)

帯郭に沿うて拓ける春田かな

句集『田園』春の巻に収録されているこの句は、帯曲輪の周囲に開かれた田んぼの様子を詠んだものです。曲輪を囲んでいた堀を干拓し、新たに田んぼを開いたのでしょうか。現在、帯曲輪の跡地に当たる場所に田んぼはなく、現代的な住宅地が広がっています。奇北の句は、時代とともに変化してきた帯曲輪の風景を切り取り、今に伝えてくれる貴重な言葉でもあります。

(郷土博物館 岡本夏実)

はじめまして



令和4年9月生まれのお子さんを募集します

- 7月31日(月)〜31日(月)に電話またはEメールで広報広聴課(内線322) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
●応募者多数の場合は、8月3日(木)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



令和4年7月生まれのおともだち



栗田 晴仁(はるひと)ちゃん(谷郷)
令和4年7月7日生まれ
父・和俊さん 母・祐希さん
「晴仁の笑顔が大好き!」
「元氣いっぱい大きくなってね!」



長谷川 生季(いっき)ちゃん(谷郷)
令和4年7月13日生まれ
父・和広さん 母・智子さん
「元氣にすくすく」
「大きくなあれ!」



鎌田 依菜(えな)ちゃん(佐間)
令和4年7月18日生まれ
父・弘樹さん 母・彩さん
「可愛い笑顔で」
「元氣いっぱい育ってね♡!」



篠原 航琉(わたる)ちゃん(長野)
令和4年7月15日生まれ
父・拓真さん 母・夏未さん
「家族みんなの癒し♡かわい」
「元氣にすくすく!」



坂田 葉湖(はこ)ちゃん(押上町)
令和4年7月5日生まれ
父・真悟さん 母・瑠子さん
「葉湖の笑顔が大好きだよ♡!」



飯島 千紗(ちさ)ちゃん(谷郷)
令和4年7月5日生まれ
父・康秀さん 母・佳奈子さん
「毎日沢山の幸せをくれて」
「ありがとう!」

編集・発行/行田市総合政策部広報広聴課
〒361-1860 行田市本丸2番5号
TEL 556-1111 FAX 550-2116

今月の表紙 『折り鶴』は日本文化である折り紙の一つですが、今日では平和のシンボルとして、多くの国々で平和を願って折られています。世界では、現在もロシアによるウクライナ侵攻が続いています。明るい未来を築くため、今一度「戦争」と「平和」について考えてみましょう。



行田市のマイナンバーカード交付率 69.8% (6月1日現在)



VEGETABLE OIL INK 環境にやさしい 植物油インク